

[3] 芸術工学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4060992>

出版情報：芸術工学研究. 3, 2001-02-27. 九州芸術工科大学
バージョン：
権利関係：



『芸術工学研究』刊行会会則

1. 『芸術工学研究』刊行会(以下本会)は、九州芸術工科大学の教職員のうち、学術誌『芸術工学研究』の刊行に賛同する者によって構成される。
 2. 本会は、年1回総会を開き、そこにおいて編集方針を決定するとともに、編集委員会を選出する。
 3. 『芸術工学研究』編集委員会は、編集委員5名および事務局員2名によって構成され、本誌の刊行に責任を持つ。任期は1年とし、再任は妨げない。編集委員長は、編集委員の互選とする。
 4. 『芸術工学研究』は年2回刊行される。投稿規程および執筆要領は別途定める。
-

『芸術工学研究』投稿規程

1. 総則

- 1.1 『芸術工学研究』(以下本誌とよぶ)への投稿は本規程による。
 - 1.2 投稿者(少なくとも1名)は、九州芸術工科大学(以下本学とよぶ)の教職員および本学に関係のある研究者を原則とする。ただし本学教官の推薦がある者および本誌編集委員会が依頼した者はこの限りではない。
 - 1.3 投稿原稿の採否は、編集委員会が査読の結果に基づいて決定する。編集委員会は原稿の修正を求めることができる。
 - 1.4 査読は、編集委員または編集委員会によって委嘱する者2名によって行われ、その結果については編集委員会が責任を持つ。
 - 1.5 本誌に掲載された記事の内容についての責任は投稿者が負う。
-

2. 記事の種類

2.1 論文

論文は、独創的な研究で、新しい知見・事実を含み、学術的、社会的発展に寄与するものとする。

2.2 作品・演奏等

自分の作品・演奏等にかんする発表または解説とする。

2.3 報告・資料等

報告・資料等は、速やかに研究成果を公表することを目的とするものの他、公開することが学術的に意味がある実験記録、調査記録、その他研究資料をする。

2.4 評論等

評論等は、上記のカテゴリーに明確に含まれないもので、学説、著作および作品・演奏その他にかんする論評および科学的技術的あるいは社会的文化的事柄にかんする論評等とする。

2.5 研究ノート

研究ノートは、論文に準じる研究成果を含むが、論文と同等の完結性を要求されない自由度を有する形態のものとする。

3. 原稿の提出

- 3.1 本誌各号への原稿の提出は、編集委員会によって公表された期日に従う。
- 3.2 原稿の作成は、所定の書式に従う。
- 3.3 原稿の長さは、編集委員会が特に認めたもの以外は、白黒20ページ以内を標準とし、それを越えるページおよびカラーページ(カラー写真を含む)については、投稿者は追加料金を支払う。
(1ページは400字詰め原稿用紙で約5枚)
- 3.4 原稿は、原則として、和文または英文とし、所定の書式に従って、英文要旨を付ける。
- 3.5 校正は初校のみ著者に送付する。校正時における文章や図表の追加は原則として認めない。